

## 2006年

### 【論文等】

川嶋 將生

松本郁代「神泉苑と「龍王」 室町時代「霊場」の異相 (『アート・リサーチ』6号, 2006年)

赤間 亮

赤間 亮「狂言五題」(『アート・リサーチ』vol.6, 2006年3月)

杉橋 隆夫

佐古愛己「撰撰・院政期における受領成功と貴族社会」(『立命館文学』594号, 2006年, pp.35~61)

山本崇(単著)「全国木簡出土遺跡・報告書データベースの公開」(奈良文化財研究所『奈文研ニュース』NO.20, 2006年)

山本崇・高橋学 秋田県教育庁弘田柵跡調査事務所(共著)「胡桃館遺跡出土木簡再釈読について」(『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』20, 2006年)

山本崇(単著)「書評 佐藤信編『西大寺古絵図の世界』」(『日本歴史』695号, 2006年)

山本崇(単著)「第一次大極殿院地区」(奈良文化財研究所『奈良文化財研究所五十年史 本文編』2006年, pp.51-52)

木立 雅朗

木立雅朗編, 2006『立命館大学文学部学芸員課程研究報告第12冊 陶器製手榴弾弾体の考古学的研究』

立命館大学文学部・立命館大学21世紀COE京都アート・エンタテインメント創成研究

本郷 真紹

毛利憲一「山林寺院」「石山寺」「良弁」ほか8項目, 『日本古代史大辞典』(大和書房刊行), 2006年1月

本郷真紹「第一章 山の信仰・野の信仰 総論」, 『美浜町誌』第2巻(美浜町発行), 2006年3月, pp.3~22

毛利憲一「9 美浜町内に残る山の信仰」, 『美浜町誌』第2巻(美浜町発行), 2006年3月, pp.22~23

毛利憲一「六・七世紀の地方支配 - 「国」の歴史的位置 - 」, 『日本史研究』523号, 2006年3月, pp.1~23

日本史研究会2005年度大会〔2005.10.8 京都〕での報告

中本 大

「京都大学蔵実隆自筆和漢聯句訳注」(京都大学国文学研究室・中国文学研究室編 臨川書店 2006年3月)

八村 広三郎

八村広三郎, 舞踊のデジタルアーカイブ(特別講演), 動的画像処理実利用ワークショップ論文集, pp.220-227, 2006年.

崔雄, 島田陽平, 牧田佳子, 吉村ミツ, 八村広三郎, モーションキャプチャと生体情報の同時計測による舞踊動作の定量化, 動的画像処理実利用ワークショップ論文集, pp.245-248, 2006年.

八村広三郎, デジタル技術による伝統芸能の記録と保存 - 舞踊のデジタルアーカイブ -, お茶の水女子大学比較日本学研究センター研究年報, No.2, pp.73-78, 2006年.

鶴田清也, 崔雄, 八村広三郎, 没入型仮想環境における3DCGキャラクターアニメーションの表示手法, 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会報告, 2006-EC-3, pp.91-96, 2006年.

Mitsu Yoshimura, Hideki Murasato, Tamiko Kai, Akira Kuromiya, Kiyoko Yokoyama, and Kozaburo Hachimura, Analysis of Japanese Dance Movements Using Motion Capture System, Systems and Computers in Japan, Vol.37, No.1, pp.71-82, (Translated from Densi Joho Tsushin Gakkai Ronbunshi, Vol.J87-D-II, No.3), 2006.

徐 剛

Jan.2006, Asian Conference on Computer Vision 2006, Hyderabad India, "Detection of Moving Objects

by Independent Component Analysis”, Masaki Yamazaki, Gang Xu, Yen-Wei Chen

#### 田中 弘美

Xin Yin, Yasuo Miichi, Hiromi T. Tanaka, : “Restoration of Color in Noh Masks,” International Symposium on Data mining, Virtual Environments and Online Communities joint with COE Postdoctoral Researchers Poster Session, pp..76-81, (Mar. 2006)

#### Ruck Thawonmas

国内研究会報告論文(査読なし):

中村 知貴, Ruck Thawonmas, “MMOGにおける感情を持ったエージェントの評価,” 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会第3回研究会2006年3月13日

倉重 正義, 飯塚 啓太, Ruck Thawonmas, “SOMによるオンラインゲーム内のユーザ移動データの分類,” 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会第3回研究会2006年3月13日

小栗 崇志, 津田 耕平, Ruck Thawonmas, “森のメタフォを用いた掲示板における重要人物・返信数・重要単語の可視化,” 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会第3回研究会2006年3月13日

逢坂 翔太, 八朔 宏樹, Ruck Thawonmas, “ビデオゲームにおけるAIのルールベース適正化,” 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会第3回研究会2006年3月13日

秦克 世志, Ruck Thawonmas, “MMOGログにおける特定シーケンスとそれらの共起の偏りの発見,” 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会第3回研究会2006年3月13日

#### 前田 亮

Zakia Ferdousi and Akira Maeda. Unsupervised Fraud Detection in Time Series Financial data. 第 17 回データ工学ワークショップ (DEWS2006) 論文集, Mar. 2006.

Zakia Ferdousi and Akira Maeda. Mining Outliers for Fraud Detection in Financial Data. 第 68 回情報処理学会全国大会講演論文集, pp.3-279 ~ 3-280, Mar. 2006.

#### 小川 均

共同利用のためのカーナビシステム, 情報処理学会全国大会5L-6, 2006/04/18

急地震速報を用いた個人適応型家電制御システム, 情報処理学会 全国大会 6U-2, 2006

#### 川越 恭二

藤本 圭, 清水 敏之, 波多野 賢治, 鈴木 優, 天笠 俊之, 絹谷 弘子, 吉川 正俊: 「XML 情報検索システムとその高速化に関する研究」, 電子情報通信学会 第 17 回データ工学ワークショップ (DEWS2006) 論文集, CD-ROM, 2006 年 3 月.

内山 紀明, 鈴木 優, 川越 恭二, 西村 俊和: 「利用者のリンク選択を考慮した Web ページ検索手法」, 電子情報通信学会 第 17 回データ工学ワークショップ (DEWS2006) 論文集, CD-ROM 2006 年 3 月.

外岡 良太, 鈴木 優, 川越 恭二: 「個人化された tfidf 法による文書検索の研究」, 第 68 回全国大会講演論文集, 分冊 (3), 2006 年 3 月.

赤塚 厚司, 鈴木 優, 川越 恭二: 「シーケンス間の効率的類似度算出方法と Web アクセスログへの適用」, 情報処理学会研究報告, 2006 年 1 月.

#### 矢野 桂司

矢野桂司, 磯田弦, 中谷友樹, 河角龍典, 松岡恵悟, 高瀬裕, 河原大, 河原典史, 井上学, 塚本章宏, 桐村喬「歴史都市京都のバーチャル時・空間の構築」

E-journal Geα (地理学会第二機関紙), 第 1 巻 0 号 (創刊準備号) 2006 年 2 月 25 日, pp.225-231.

E-journal GEO <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ajg/ejgeo/>

歴史都市京都のバーチャル時・空間の構築

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ajg/ejgeo/1012-21yanoetal.pdf>

Nakaya, T., Isoda, Y., Yano, K., Takase, Y., Kawasumi, T., Tanaka, S., Kawahara, N., Inoue, M., Tsukamoto, A., Kirimura, T., Matsuoka, K., Kawahara, D., Sone, A., Shiroki, M., Motojima, H., Ohtomo, N. (2006): Kyoto Virtual Time-Space : A 4D GIS for exploring historical landscapes in Kyoto. アート・リサーチ, 磯田 弦 「二次元と三次元の橋渡し 京都バーチャル時・空間における京町家モデル」立命館文学, 第 593 号 (須原英士雄教授退職記念論集), 2006 年 3 月, pp.138-153 .  
Y. Takase, K. Yano, T. Nakaya, Y. Isoda, T. Kawasumi, S. Tanaka, N. Kawahara, M. Inoue, A. Tsukamoto, T. Kirimura, K. Matsuoka, A. Sone, M. Shiroki and D. Kawahara(2006): Kyoto Virtual Time-Space: A 4D GIS with VR and Web3D Technologies : International Symposium on Data Mining, Virtual Environments and Online Communities, proceeding, pp38-42 , 2006.March.3.

#### 【著書】

杉橋 隆夫

京都市歴史資料館編 (井上幸治執筆・編集担当)『史料叢書 9 大中院文書・永運院文書』(京都市歴史資料館, 2006年, 414p)  
上田正昭監修『日本古代史大辞典』大和書房, 2006年

Ruck Thawonmas

Ruck Thawonmas, Ji-Young Ho, and Yoshitaka Matsumoto, "User Type Identification in Virtual Worlds," Agent-Based Modeling Meets Gaming Simulation (Post-Proceedings of the Session Conference of the ISAGA, International Simulation and Gaming Association, 2003), Series: Springer Series on Agent Based Social Systems, Vol. 2 Arai, Kiyoshi; Deguchi, Hiroshi; Matsui, Hiroyuki (Eds.), Springer (March 2006), pp. 79-88.

#### 【学会発表】

田中 覚

長谷川恭子, 仲田晋, 田中覚, "曲面モデル生成を基にしたメッシュレス構造解析," 第55回理論応用力学講演会講演論文集, pp.375-376, 京都, 2006年.

Y. Takase, K. Yano, T. Nakaya, Y. Isoda, T. Kawasumi, N. Kawahara, S. Tanaka, M. Inoue, A. Tsukamoto, T. Kirimura, K. Matsuoka, "VR and Web3D-GIS Applications Using 3D City Models," CAADRIA 2006 Conference, Kumamoto, March 31-April 2, 2006, (主催: The Association for Computer-Aided Architectural Design Research in Asia).

矢野 桂司

河角 龍典「4D-GIS による平安京バーチャル時・空間の構築」

「デジタル技術の文化財復原への応用」, 立命館大学 21 世紀 COE プログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」主催研究会, (立命館大学アートリサーチセンター, 2006 年 1 月 16 日)

Y. Takase, K. Yano, T. Nakaya, Y. Isoda, T. Kawasumi, S. Tanaka, N. Kawahara, M. Inoue, A. Tsukamoto, T. Kirimura, K. Matsuoka, A. Sone, M. Shiroki and D. Kawahara

"Kyoto Virtual Time-Space: A 4D GIS with VR and Web3D Technologies", International Symposium on Data Mining, Virtual Environments and Online Communities, Biwako-Kusatsu Campus, Ritsumeikan University, 2006.March.3, (proceeding38-42)

河角龍典, 塚本章宏, 磯田弦, 佐古愛己, 中谷友樹, 矢野桂司「宮都研究と 4D-GIS」, 第 22 回 糸里制・古代都市研究会大会 (奈良文化財研究所, 2006 年 3 月 4 日)

Tatsunori Kawasumi "The historical flood disasters and the landscape changes during the past 1,400 years in the river floodplains of Kinki region in west Japan"

The 2006 Meeting of the Association of American Geographers (2006 AAG Annual Meeting), March 7-11 2006, Chicago, Illinois, USA.

塚本章宏，磯田弦 『「寛永後萬治前洛中絵図」を用いた江戸時代京都の空間基盤データ整備』日本地理学会，2006年春季学術大会，埼玉大学，3月27日(月)～30日(木)。

松岡恵悟，河原 大，矢野桂司

「京都市内に現存する近代建築の空間的分布」日本地理学会，2006年春季学術大会，埼玉大学，3月27日(月)～30日(木)。

Y. Takase, K. Yano, T. Nakaya, Y. Isoda, T. Kawasumi, N. Kawahara, S. Tanaka, M. Inoue, A. Tsukamoto, T. Kirimura, K. Matsuoka, N. Sho, A. Sone, T. Hatanaka, K. Shimiya, M. Shiroki, T. Masumi, D. Kawahara

“VR and Web3D-GIS Applications Using 3D City Models”, Computer Aided Architectural Design and Research in Asia (CAADRRIA), Kumamoto University, 2006.March.31-April.2

#### 【学会発表】

稲葉 光行

Inaba, M., “Computer-Supported Collaborative Learning for Children-centered Social Improvement, ”Presentation at the Laboratory of Comparative Human Cognition, University of California, San Diego, Mar. 14, 2006.

#### 【そのほか】

矢野 桂司

GISNEXT第14号「変わりゆく文化都市の時空間をタイムトリップ」京都の歴史空間を旅する4次元GIS/立命館大学文学部地理学教室 (2006年1月16日)